

農地法の許可申請受付切日は毎月10日です。

潮来農委だより

第79号

発行者 潮来市農業委員会
 編集者 広報委員会
 TEL 63-1111
 内線 270・272



道の駅 うみでらす名立

潮来市農業委員会	鹿取 豊造 八代	薄井登三男 香澄	箕輪 清 大生原	関沢 勝衛 延方	堀越 豊志 津知	柄津 幸男 潮来	農地利用最適化 推進委員 担当地区	堀井 満 堀之内・茂木・清水	黒須 一夫 東・須賀・曲松・小泉・西	宮本三千男 西町七軒丁・大洲・大塚野・あやめ・日の出	宮本 孝一 新宮・古高・洲崎・下田・宮前	高品二美代 十番・十四番	鴫田美喜男 上戸(芝宿・台上戸・横須賀)・島須(宿・古宿)	方波見 譲 牛堀・永山	村山 真一 水原1-3・釜谷	鬼澤 淳一 津知	松本 清隆 徳島・米島・福島	原 正章 大生・大賀・島須(赤須)	山本 一心 前川	農業委員 担当地区	謹賀新年 今年もよろしく お願いいたします

◆ 主な内容 ◆

◇ 会長あいさつ、市長あいさつ……………P. 2	◇ 道の駅いたこ花壇整備 他……………P. 5
◇ 市長への意見書の提出 他……………P. 3	◇ 農業委員会活動報告 他……………P. 6
◇ 農業委員会全体研修会 他……………P. 4	



新春のごあいさつ

潮来市農業委員会

会長 堀井 満

新年あけましておめでとうございます。
日頃より農業委員会活動に深いご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止策として全国的に予防接種が加速的に進み、秋ごろから感染者の減少が見られましたが、新たな変異株による感染が見られ、今年に入りましても、新型コロナウイルス感染症による生活・社会活動への影響があると思われまます。

この様な状況の中、農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や担い手の減少及び耕作放棄地の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による農畜産物の需要の落ち込みなど、農業経営者の自助努力だけでは困難な状況であり、構造改革をさらに加速化させていくことが求められています。

農業委員会としましては、優良農地の確保、農地の有効利用を基本として、実態調査で把握した情報等を基に、今後、担い手農家への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消など農地利用の最適化に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。

また、本市農業施策の重要課題であります農業の担い手の確保、特に新規就農者の確保に向けた活動の強化を図ってまいりたいと考えます。

新たな年を迎え、潮来市農業委員会一丸となり、潮来市農業発展のためより一層精進してまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

潮来市長

原 浩 道

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は、公私とも大変お世話になり、誠にありがとうございます。また、市政運営、特に農業政策につきましましては、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、新型コロナウイルス感染者が全国で急増いたしました。積極的なワクチン接種の推進で昨年末から感染者数は減少している状況です。本市でも医療機関等のご協力により、十二歳以上のワクチン接種率は約九割と高い率になっております。新たな変異株の流行が懸念されておりますが、「マスク着用と手指等の消毒」等、引き続き感染防止に努めていただければと思います。

また、コロナ禍による外食産業低迷や異常気象による気候変動の影響等により農産物の相場下落や出荷量の減少など、農業を取り巻く環境は厳しい状況であります。安定した農業経営を得るためにも、一人一人の感染防止対策と地域社会に再び賑わいが創出することを期待しております。本市におきましても、安心して安全な農産物が消費者の皆さまに届くよう、さらなる地域ブランド力の強化と販路拡大の取り組みを進めています。

また、本市の特産品としての『まこも』の圃場拡大などを進めさせていただきます。収穫量も増え、多くのお客様にご購入いただいております。繊維質やビタミンなどを含み何にでも合う食材として、潮来市の新たな特産品『まこも』が、さらに安定的に供給できるよう、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、新しい年が健康で飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます。新春のあいさつといたします。

— 潮来市の農業振興に向けて —

潮来市農地等利用最適化推進施策に関する意見書を提出

潮来市農業委員会は、令和3年9月27日、原浩道市長へ「令和4年度潮来市農地等利用最適化推進施策に関する意見書」を提出しました。

この意見書は、農業委員会等に関する法律第38条第1項に基づくもので、農地等の利用の最適化の推進等の改善についての意見を取りまとめ、農業委員会より、市長へ提出するものです。



主な意見の項目は次のとおりです。

1. 米づくりに対する支援について

- (1) 米の直接支払交付金に代わる新たな制度の創設、価格補償等につき検討してください。
- (2) カメムシ防除について、地域毎の一斉防除等の体制整備を検討してください。

2. 担い手に対する支援について

- (1) 新規就農者等の育成・確保のため、各種支援につきまして検討してください。
- (2) 認定農業者等、地域の担い手に対し、市単独で農業機械・施設の整備に対する補助事業等の拡充につきまして検討してください。
- (3) 小規模農家に対して、農業機械、施設の整備に対しての支援を検討してください。

3. 担い手への農地集積・集約化に対する支援について

- (1) 農地中間管理事業の制度の一部改正について検討してください。
- (2) 簡易な土地改良事業に対する支援を検討してください。

4. 遊休農地の解消に対する支援について

- (1) 担い手農家が遊休農地等を借り受けて耕作をする場合に、抜根、整地に係る経費について、市単独の助成制度の創設等を検討してください。

5. 農業委員会の体制整備について

- (1) 農業委員会の業務の拡充に伴い、事務局体制の強化を検討してください。

農業委員会総会日程

農地法の許可申請等は、毎月次の日程で行われています。

締切日 毎月10日

農地農政相談日 随時

現地調査日 毎月17日

総会日 毎月25日

※土曜・日曜・祭日等と重なるときは、変更になります。

■議案審査の状況を公表します。

期間：令和3年7月～令和3年12月
農業委員会定例会における議案審査の件数は下記のとおりです。

審査項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農地法第3条 (農地のままでの権利の移転)			2件	2件	10件	8件
農地法第4条(自己転用)	1件				2件	
農地法第5条 (権利の移転を伴う転用)	3件	1件	1件	2件	5件	1件
利用権の設定 (農業経営基盤強化促進法による)	13件	5件	18件	17件	38件	21件
農地の現況確認証明				2件	2件	1件
その他		1件			1件	2件

農業委員会全体研修会に参加して

農地利用最適化推進委員 薄井 登三男

11月28日から11月30日に市農業委員会の全体研修会が実施され、農業委員・農地利用最適化推進委員が参加した。

の多さと観光客が多いことに大変感心するとともに大変有意義な研修ができたことに感謝したい。

遠くから近くへ景気の良い掛け声が飛び交う。そうだ、ここは私たちの研修の地、近江町市場である。金沢市内には犀川と浅野川という2本の川が流れていて、昔はその川の周りで市が立っていた。1721年、その市を加賀藩が金沢城に近い現在の場所に集めたのが近江町市場の始まりとされている。現在、近江町市場は石川県金沢市の中心部にあり、店舗数73店舗（市場全体133店舗）延べ床面積17,349㎡の規模で、金沢市民の台所として300年間、主に海産物、精肉、青果及び加賀野菜を中心とした市場である。私たちが市場見学をして、その物流



農地の無断転用をなくしましょう！

○農地転用とは

農地に住宅の建築を行ったり、駐車場や資材置き場などにしたりと、農地を耕作以外の用途に変更することです。

○許可（届出）が必要です

農地転用をするには、農地法第4条又は第5条の許可が必要です。一時的に農地を駐車場などに転用する場合も許可が必要です。ただし、市街化区域内の農地はあらかじめ農業委員会に届出を行えば許可の手続きは要しないことになっています。

○無断で転用できません

農地を無断許可で転用した場合には、所有権移転などの権利や設定の効力が生じません。登記もできません。さらに、農地法に違反する転用となるので、原状回復命令を受けたり、罰則が課せられることもあります。

○工事流用土について

工事流用土での農地改良のトラブルは、土地所有者である「あなた」が解決しなければなりません。使用する土が良質かどうか必ず確認しましょう。

※農地転用をお考えの方は、事前にご相談のうえ、手続きを行いましょ。

道の駅花壇整備



潮来市農業委員会の管理する道の駅いたこの前の花壇整備を11月7日に実施しました。

毎年5月と11月の年2回、農業委員・推進委員及び地域ボランティアの協力を得て、季節感豊かな花の植え付けを行っています。

農業委員・農地利用最適化推進委員18名が班編成をして、毎週日曜日に交代で水かけや除草作業等の管理を実施しています。道の駅や鹿島スタジアム等へおいでになる方々を歓迎おもてなしができるよう、継続的に花壇整備をしていきます。



道の駅収穫祭



11月14日、道の駅いたこの大収穫祭の開催にあわせて、サツマイモの販売を行いました。販売したサツマイモは、農業委員会において耕作放棄地解消事業に取り組み、実証圃として20アールの畑を再生した畑で栽培したものです。

当日は、天気も良く、たくさんの方に購入していただくことができました。



農業者年金で安心して豊かな老後を！

農業者年金の6つのポイント

- ① 農業者の方なら広く加入できます
- ② 少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型
- ③ 保険料の額は自由に決められます
- ④ 終身年金。80歳前に亡くなられても遺族に死亡一時金があります
- ⑤ 支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となります
- ⑥ 若年層には保険料の国庫補助による手厚い政策支援

【お問い合わせ先】

潮来市農業委員会

(TEL:0299-63-1111、内線 270,272)

◆ 全国農業新聞 ◆

全国農業新聞は、農業総合専門紙です。「週刊」という一週間の時間を生かし、情報がわかりやすいように解説的にまとめられています。

全国47都道府県にある支局の県版・地方版の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や、地域独自のイベント情報などの提供も行っています。

農業情報が満載「全国農業新聞」で、一歩進んだ農業経営と豊かな家庭を！

発行日 / 毎週金曜日 購読料 / 月700円

お申し込みは、農業委員会へどうぞ

(☎ 63-1111、内線 270・272)

農業委員会活動報告(後期分)

- 8月17日 農地部会
- 18日 農政部会・推進委員合同会議
- 25日 8月定例総会・全員協議会
- 9月16日 農政部会・推進委員合同会議
- 17日 農地部会
- 27日 9月定例総会・全員協議会
- 27日 市長への意見書の提出(市農業施策に関する意見)
- 28日 農地利用状況調査(潮来地区)
- 29日 農地利用状況調査(津知地区)
- 30日 農地利用状況調査(延方地区)
- 10月4日 農地利用状況調査(香澄地区)
- 5日 農地利用状況調査(八代地区)
- 7日 農地利用状況調査(大生原地区)
- 7日 行方地域協議会理事会
- 15日 農政部会・推進委員合同会議
- 18日 農地部会
- 20日 市町村農業委員会会長・事務局長会議
- 25日 10月定例総会・全員協議会
- 27日 耕作放棄地解消事業・イモ掘り体験学習(潮来小児童・大生地内)道の駅いたこ花壇整備
- 11月7日 道の駅花壇植替え
- 14日 道の駅いたこ収穫祭に参加(サツマイモの販売)
- 11月17日 農地部会
- 18日 農政部会・推進委員合同会議
- 18日 広報委員会
- 25日 11月定例総会・全員協議会
- 25日 行方地域協議会全体研修会
- 27日 市制施行20周年記念事業
- 28日 潮来市農業委員会全体視察研修会(北陸方面)
- 30日 会
- 12月16日 農政部会・推進委員合同会議
- 16日 広報委員会
- 17日 農地部会
- 23日 12月定例総会・全員協議会
- 28日 仕事納め
- 1月4日 仕事始め
- 14日 農政部会・推進委員合同会議
- 18日 農地部会
- 25日 1月定例総会
- 26日 農業委員会会長研修会
- 26日 農政活動推進本部代議員総会
- 26日 新春農政懇談会

事業予定(令和4年)

潮来小1・2年生がイモ掘りを体験 — 耕作放棄地解消事業 —

10月27日に潮来小学校の1・2年生73名が大生地内の再生畑でイモ掘りを体験しました。イモ掘り体験学習も9年目になりました。

当日は、朝から天候が心配されましたが、5月31日に植えた4種類のサツマイモ(シルクスイート、紅はるか、すずほっくり、ハロウィンスイート)の収穫を行うことができました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でイモ掘りのみの実施でしたが、今年度はイモ苗植えとイモ掘りの両方を体験してもらうことができ良かったです。

終了する頃には、小雨も降っていましたが、雨に負けることなく元気いっぱい楽しみながら体験することができたようです。



編集後記

農業委員になって三年になるうとしていきます。慣れない農地法について、先輩委員や事務局の方々に指導を受けながら、なんとか今日に至っています。

市内の農地調査の現場をまわってみて、潮来に住んでいるにも関わらず、初めて訪れる場所も多く潮来市の奥深さを感じました。そんな時、よく目にするのは、耕作放棄された農地です。ひどいところは、山林化したところもありました。自然に還ると言ってしまうかもしれませんが、先人達が守ってきた農地が、荒れてゆくのを見ていることは忍びないです。農家が、少し耕作を休んだだけでもすぐに荒れてしまいます。新しい世代に少しでも土地を活かす農業に興味を持ってもらえれば幸いです。この二年コロナ禍ということもあり、行事や研修が中止になり、活動が制限されてきました。今年が明るく前向きな一年であることを願ってやみません。

広報委員 山本 一心

広報委員会

- 委員長 高品 二美代
- 副委員長 方波見 讓
- 委員 原 正章
- 委員 山本 一心
- 委員 松本 清隆